知的障害特別支援学校寄宿舎

中学部舎生の水遊びを減らす指導

●●県立●●支援学校
寄宿舎指導員　●●　●●
教　　諭　　●●　●●

事例の概要

- 問題行動の状況
  - 帰舎後、手洗い場での手洗いやうがいの時などに頻繁に水遊びをする。
  - 水遊びとは
    - 流し台に水を垂らすこと
    - 不適切な場面で顔を洗うこと
- この指導を行う意義
  - 日課のスムーズな進行
  - 公共の場での水道の正しい利用の習得
  - 寄宿舎指導員による個別の指導計画活用のトレーニング

対象生徒のプロフィール

- 中学部1年、男子
- 自閉症、知的障害
- S-M社会生活能力検査(H24)
  - 社会生活年齢4歳3ヶ月
- その他の特徴
  - 発話は単語レベル、会話は困難
  - 日常の指示理解は可能
  - 時折パニックが見られる。
  - 同じ絵本を見比べたりすることを好む。

指導目標、場面、記録方法

- 指導目標
  - 帰舎後、手洗い場での手洗いやうがいの時に水遊びをすることを減らす。
- 指導場面
  - 帰舎後、手洗い、うがい、水筒洗いをする時
  - 食後の歯磨きの時
  - トイレの後の手洗いの時
- 標的行動
  - 水遊び（水滴垂らし、顔洗い）
- 記録方法
  - 以下の時間帯ごとに水遊びの回数を記録
    - 14:30-17:00、17:20-19:20、19:20-21:00

指導1:方法

- 問題行動の推定原因と解決策
  - **推定原因**:水遊びをしても良い時間がないから。水遊びの感覚刺激が必要だから。
  - **解決策**:時間を決めて水遊びをさせる。
- 指導手続き
  - 入浴の終了時に2分程度、金だらいにためた水で遊ばせる。
- 教材
  - 金だらい
- 好子
  - 水の感触、水滴が落ちる様子
- 指導期間
  - 2013年9月9日～ 9月27日

指導1:結果と考察

- 水遊びの回数はやや減少(図1参照)
  - B.L.期:平均2.2回　→　指導1期:平均1.2回
  - 帰省する金曜日は水遊びが少ない。
- 入浴終了時の水遊びは不適切な水遊びの減少にやや有効
- 入浴終了時の水遊びは簡便で、対象児にも楽しい時間であるため継続可能
- 入浴後の水遊び（15:10～16:00頃）は帰舎直後（14:30頃）の問題行動に対しては効果がない。
- 手洗い場の流しに水を垂らす問題行動が多発
  - 蛇口から手拭きタオルまでの距離が遠いから?
  - 水を十分切らずに移動するから?

指導2:方法

- 問題行動の推定原因と解決策
  - **推定原因**:蛇口からタオルまでが遠いから。手が濡れたまま移動するから。
  - **解決策**:距離を近くする。水を切らせる。
- 指導手続き
  - 指導1「入浴終了時の水遊び」は継続
  - 手洗い後に水を3回切らせる声かけ
  - 蛇口後方のペーパータオルで手を拭くように指導
- 教材
  - ペーパータオル
- 指導期間
  - 2013年9月30日～11月1日

指導2:結果と考察

- 問題行動の平均回数はやや増加(図1参照)
  - 指導1期:1.2回　→　指導2期:1.9回
    - 前半(9月30日～10月13日(運動会時期)):2.4回
    - 後半(10月16日～11月1日):1.4回
- 指導2期の前半に多発した原因
  - 運動会の練習時の暑さや疲れ
  - 指導2導入初期の指導員の指示の増加
- 後半の平均1.4回は指導1期の1.2回と同程度
  - 指導2の手続きは有効とはいえない。

指導2：結果と考察(つづき)

- 時間帯ごとの問題行動生起回状況(図2参照)
  - 時間帯が連続して生起した日数：11日
  - 生起しても時間帯が連続していない日数：22日
- ある時間帯に水遊びをすると感覚刺激が充足し、次の時間帯には生起しにくい。
  - 感覚刺激の飽和化
- 入浴後の水遊びに加えて、帰舎直後に30秒程度水遊びを設定すれば
  - 感覚刺激の飽和化が促進され、不適切な水遊びが減るのではないか

指導3:方法

- 問題行動の推定原因と解決策
  - **推定原因**:帰舎直後(14:30頃)の水遊びが減らないのは感覚刺激が遮断化されているから
  - **解決策**:帰舎直後に水遊びを設定
- 指導手続き
  - 手洗い場の流しに水を入れたバケツを置く。対象児にタイマーで30秒セットさせ、バケツの水を壁にかける水遊びをさせる。
- 教材
  - バケツ、キッチンタイマー
- 好子
  - 水の感触、壁に水がかかる様子
- 指導期間
  - 2013年11月5日～ 11月22日

指導3：結果と考察

- 不適切な水遊びの平均回数は減少(図1参照)
  - B.L.期2.2回、指導1期1.2回、指導2期1.9回
    → 指導3期0.5回
  - 以前は手洗い場で指導員がつきっきり → 現在は離れた位置から見守り
- 帰舎直後の水遊びで感覚刺激の飽和化
  - ただし気温の低下が水の強化力を弱めた可能性あり
- 30秒程度の水遊びは簡便で今後も継続可能
- 寄宿舎指導員の印象
  - この指導の開始後、学校、寄宿舎で落ち着いて生活
- 好子査定と生活適応的な問題低減方法の検討
  - 水に触れる作業(洗い物、洗濯)等

帰舎後の水遊びの回数（ -.-.- は最小二乗法による近似直線）

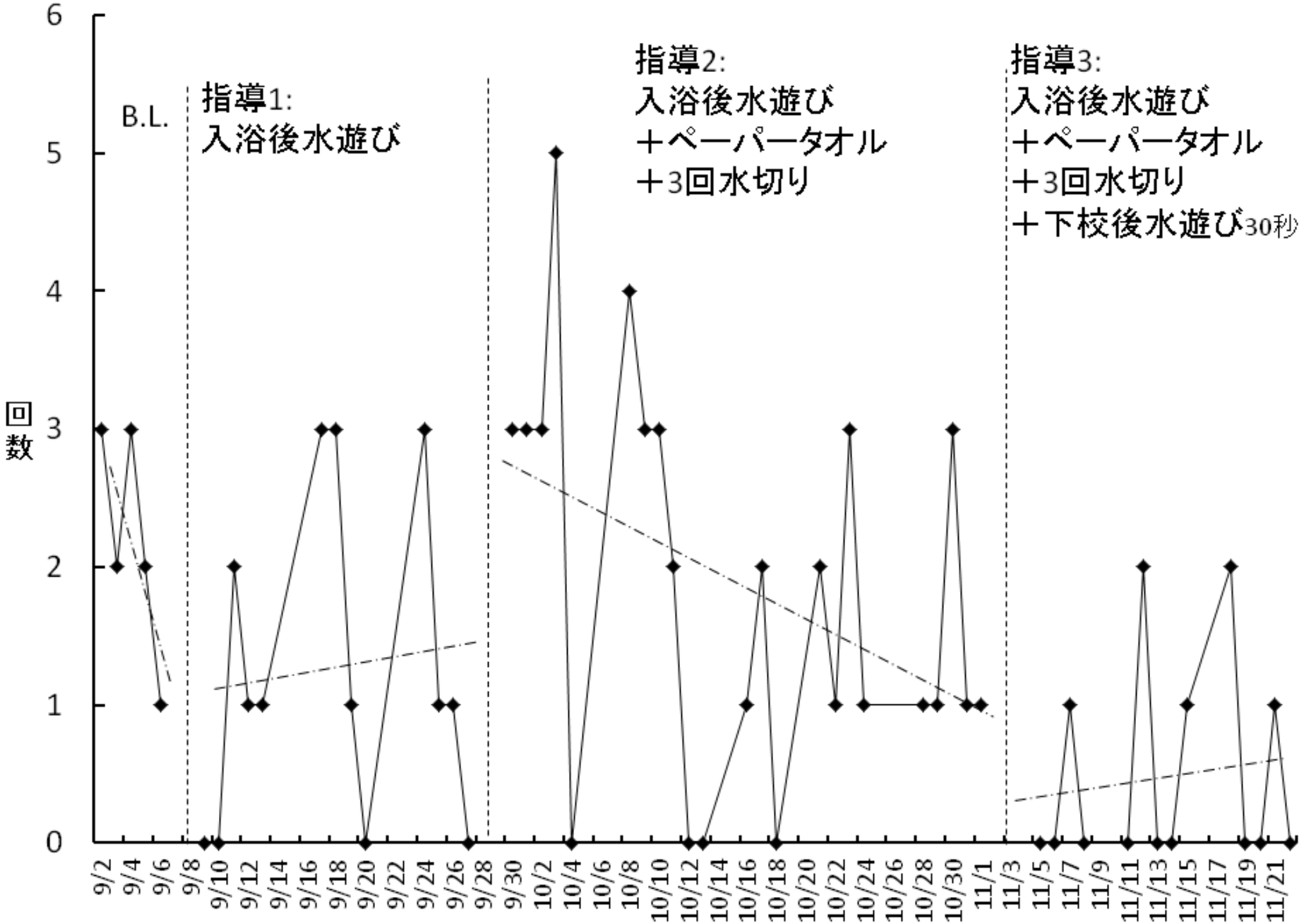

図2:問題行動の時間帯別生起状況

	14:30-17:00	17:20-19:20	19:20-21:00	生起状況
9月2日	1	2	0	連続
9月3日	0	0	2	独立
9月4日	2	1	0	連続
9月5日	2	0	0	独立
9月6日	0	0	1	独立
9月9日	0	0	0	なし
9月10日	0	0	0	なし
9月11日	1	1	0	連続
9月12日	1	0	0	独立
9月13日	0	0	1	独立
9月17日	1	0	2	独立
9月18日	2	1	0	連続
9月19日	1	0	0	独立
9月20日	0	0	0	なし
9月24日	2	1	0	連続
9月25日	0	1	0	独立
9月26日	1	0	0	独立
9月27日	0	0	0	なし
9月30日	3	0	0	独立
10月1日	2	0	1	独立
10月2日	3	0	0	独立
10月3日	2	0	3	独立
10月4日	0	0	0	なし
10月8日	2	2	0	連続
10月9日	2	1	0	連続
10月10日	1	2	0	連続
10月11日	2	0	0	独立
10月12日	0	0	0	なし
10月13日	0	0	0	なし
10月16日	1	0	0	独立
10月17日	1	1	0	連続
10月18日	0	0	0	なし
10月21日	0	1	1	連続
10月22日	1	0	0	独立
10月23日	2	0	1	独立
10月24日	0	1	0	独立
10月28日	0	1	0	独立
10月29日	0	0	1	独立
10月30日	2	1	0	連続
10月31日	1	0	0	独立
11月1日	0	1	0	独立

集計

	日数
独立	22
連続	11
なし	8

※網掛けは生起回数が多いほど濃くしている。